

(様式3)

事業所名 グループホームふれ愛の里牛島

目標達成計画

作成日: 令和 4 年 1 月 7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	避難訓練は行っているが、避難が冬季の夜間の場合や出入り口の小規模が火災の場合など、建物から避難して出た後の想定が足りない部分が多い。	冬季の夜間の避難も安全に行う。	小規模多機能や老健ふれ愛の里との連携をとりながら、避難想定を考えていく。運営推進会議の推進員には協力を依頼しているが、近隣の住人にも緊急時の協力をお願いしていく。	6ヶ月
2	10	介護職員が入居者の介護計画の把握と計画に基づいた記録が出来ていないことがある。	全ての介護職員が入居者それぞれの介護計画をしっかり把握し、計画に基づいた記録をすることができる。	入居者の介護計画書を各ユニット毎に置き、いつでもプランが確認できるようにしていく。記録の入れ方はユニット長や計画作成担当がチェックし指導していく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。